

第5学年道徳学習指導略案

令和3年1月16日（土）3，4校時

授業者 1組 西原 誠貴
 2組 杉山 亜耶
 3組 吉田 理恵

- 1 主題名 「生きているからこそ」 D生命の尊さ
- 2 資料名 「クマのあたりまえ」(『新しい道徳』東京書籍)
- 3 ねらい 生きていることのすばらしさを喜びに感じ、かけがえのない生命を尊重し大切にしようとする心情を育てる。

4 授業の流れ

	学習活動 【◎中心発問 ○主な発問 ・児童の反応】	□留意点 ■評価【評価方法】
導入	(1) 生きている喜びについて考える。 ○最近嬉しかったことはどんなことがありますか。 ・マラソントイムで記録が伸びた。 ・テストでいい点数を取った。 ・友達とさらに仲が良くなった。	<input type="checkbox"/> 事前に子供にアンケートを取っておき、それを発表させる。発表した児童には、嬉しかった理由も尋ねる。
展開	(2) 資料「クマのあたりまえ」を読み、生きていることのすばらしさや喜びについて考える。 ○子グマは、どうして死んだおすグマのことが忘れられなかったのでしょうか。 ・死んだクマを初めて見たから。 ・それほどショックを受けたから。 ○子グマは、ほかにどんなことで石に怒られたのでしょうか。 ・笑う。 ・お腹が空く。 ・遊ぶ。 ・ゲームをする。 ◎子グマはどんな思いで、「クマのほうがいいってわかったんだ。」と言ったのでしょうか。 ・これまでの生活のほうが、楽しくて、自分らしいから。 ・やっぱりお兄ちゃんや家族と一緒にいたいと思ったから。	<input type="checkbox"/> 「死」への恐れを感じたことや生命の有限性などを感じさせるようにする。 <input type="checkbox"/> 石に怒られそうなことを押さえることで、「生きているからこそできる当たり前のこと」に触れさせる。 <input type="checkbox"/> まずは、自分の考えをワークシートに記入する。その後、グループをつくり、意見を共有し、グループで出た意見を1つ発表する。 <input checked="" type="checkbox"/> 生きていることのすばらしさを喜びに感じ、かけがえのない生命を尊重し大切にしようと考えている。【発言・ワークシート】
終末	(3) これからの自分の在り方について考える。 ○生きているからこそ、感じることで、できることには、どんなことがありますか。 ・楽しい・嬉しいなどを感じることで。 ・頑張ったら、その努力が報われること。 ・嫌なことも、生きているからこそ感じられる。	<input type="checkbox"/> 導入で発表したことと関連させて考えさせる。ワークシートに自分の意見を記入後、全体で意見を共有させる。